

行動科学共同セミナーのお知らせ

下記の通り行動科学共同セミナーを開催します。教員・院生・学部生を問わず、ふるってご参集下さい。

日時：平成 28 年 9 月 27 日(火) 16：20～17：50

場所：広島大学総合科学部 J306

講師：宮内 哲先生（情報通信研究機構）

演題：脳科学 –基礎と応用–

脳科学における基礎と応用に関して、以下の二つの例を挙げながら私見を述べます。

1 Hans Berger の夢

世界で最初に脳波を記録したドイツの精神科医 Hans Berger の研究と生涯について話します。特に脳波を発見するまでの Berger の試行錯誤、当時の神経生理学に受け入れられなかった理由、どのようにして脳波が認知されていったのかについて当時の脳神経科学の潮流、社会背景をもとに説明します。

2 光トポグラフィーの光と影

近年、簡便的な脳活動計測法として広く用いられている光トポグラフィー（NIRS: Near Infra-Red Spectroscopy）について話します。特に光トポグラフィーの方法的限界と、2014年に保険適用された光トポグラフィーによるうつ症状診断補助の有効性について説明します。

参考文献

- 1) 宮内哲 (2016). Hans Berger の夢 –How did EEG become the EEG?– その1, その2, その3. 臨床神経生理学 44(1): 20-27, 44(2): 60-70, 44(3): 106-114.
- 2) 宮内哲 星詳子 (2016). 光トポグラフィーによる精神疾患鑑別診断–有効性の検討–. 臨床精神医学 45(1), 111-118.
- 3) 福田正人 (2016). 「光トポグラフィーによる精神疾患鑑別診断–有効性の検討」への回答. 臨床精神医学 45(2), 241-249.
- 4) 宮内哲 (2013). 脳を測る – 改訂 ヒトの脳機能の非侵襲的測定 –. 心理学評論 56(3), 414-454.
- 5) 宮内哲 星詳子 栗城真也 菅野巖 (2016). 脳のイメージング. 共立出版.

※本セミナーは理系大学院（理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目です。

問い合わせ先： 林 光緒 (mhayasi@hiroshima-u.ac.jp)